

ミウズ



No37 | 2021 秋

一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会の実現を目指して

男女平等参画講演会

神田 茜 私らしく輝く場所のみつげかた ~カメのように一步一步~

2021年12月 (期間限定YouTube配信予定)



2010年、小説「女子芸人」で第6回新潮エンターテインメント大賞を受賞された講談師 神田茜さんを講師にお迎えします。

茜さんは、古典のかたちこだわらず、等身大の女性の気持ちを面白く切なく語る独自の新作講談が人気です。茜さんが自分らしい芸風と生き方を貫き、歩んできた道のりを、トークや講談を通してお届けします。

北海道帯広市生まれ。1985年、二代目神田山陽に入門。1995年真打昇進。著書に「ぼくの守る星」「しょっぱい夕陽」「七色結び」「母のあしおと」現在、日本講談協会 理事。

配信日程は決まり次第、佐倉市男女平等参画推進センターミウズホームページにてお知らせいたします。

男女共同 参画週間

毎年、6月23日から29日の1週間は、女性と男性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる男女平等参画社会の実現を目指す「男女共同参画週間」とされています。推進拠点施設であるミウズでは期間中、セミナーをオンラインで開催、「登録団体パネル」も展示しました。



6/21~6/27
秋桜 佐倉・九条の会
WITH



6/28~7/4
新日本婦人の会 クライス
日井文化懇話会



7/5~7/11
ガールスカウト千葉県第84団
NPOいんば 現代短歌さくら



7/12~7/18
佐倉平和のつどい
オランダ語クラブ
コスモス佐倉短歌会

講座報告

ミウズ男女平等参画セミナー

「自分らしく生きるための身近なジェンダー」（オンライン講座）

令和3年6月28日(月) 講師：遠藤 恵子さん（城西国際大学准教授）

ジェンダー平等のための国際的な動きや日本の政策の歩みなどを紹介。現在の日本の女性の状況は「ジェンダーギャップ指数」(GGI)120位/156位(2021年)という結果からも見えるように、意思決定の場の女性の参画が一向に進んでいません。日本にはまだまだ分厚い「ガラスの天井」があり、無償労働は男性の5.5倍と女性が担うことが多く、性別役割分業の解消のためのワーク・ライフ・バランスの充実への取り組みや、男性の家事、育児、ケアへの参加も重要になると、示唆されていました。

これからの政策としては、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会となることを目指します。また、さらに考えるべきものとして、LGBT+や#Me tooなど、近年、多くの人に関心をもっているテーマのほか、コロナ下で顕在化した女性の労働条件、貧困、DVなどの課題もあげられました。

開催講座の紹介

女性のための再就職応援講座「パソコン講座」

令和4年3月10・17・24日 全(木) 会場：中央公民館 講師：渡辺 千春さん（パソコン講師）

出産・育児・介護等で退職したけれども、新たに再就職をめざす女性を対象に、仕事に活かせるワード・エクセルの基礎講座を開催します。あいさつ文の書き方、データの入力方法、関数・グラフの使い方など、実践で役立つスキルを身につけることを目標に学びます。 ※募集開始は、令和4年1月頃の予定です。



講座の様子

パープルリボンプロジェクト

「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12日～25日）

配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力をドメスティック・バイオレンス（DV）といいます。DVは相手の人権を踏みにじる行為であり、絶対に許されないものであるとの社会認識を広めるとともに、暴力の被害に遭っていながら、自覚がない人に認識してもらい、相談に繋がられるように啓発していきます。

ミウズでは、女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた「パープルリボンプロジェクト」に賛同した運動を行っています。今年度は各保健センター、市図書館、公民館などの窓口にパープルリボンをあしらった「DV防止」アピールリースを設置します。



「DV防止」アピールリース

SDGsとジェンダー平等

SDGs (エスディーゼズ) とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。誰一人取り残さない社会を目指して、持続可能な世界を実現するための17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。



SDGsの5番目の目標では、「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女の子のエンパワーメントを図る」と提言されています。ターゲットには、すべての女性へのあらゆる差別・暴力の撤廃、育児・介護・家事労働の平等分担、あらゆる意思決定の場で女性の参画とリーダーシップの機会を確保することなどが掲げられています。

ジェンダー平等とは

「女の子だから」「男の子だから」と言われたことはありませんか？ 体のつくりのほかに、男女の違いには、社会的・文化的な役割の違いがあります。この社会的・文化的な役割というのは、「男性はこうあるべき、女性はこうするべき」とか「男性は外で働き、女性は家のことをする」「女性はピンク、男性は青」など、皆が無意識に抱きがちなイメージの事です。こういった先入観が、ジェンダーの不平等や差別を生んでいます。

差別される女性たち

世界では、女性であるというだけで、さまざまな差別を受けるケースがあります。教育を受けられない、身体が大人になる前の10代での結婚・妊娠・出産や人身売買など。大人になっても、外で自由に仕事をする事は許されず家事や育児に専念するしかない、家庭の中で暴力を受けるなど、差別に苦しむ女性も少なくありません。SDGsが目指すのは、女性も男性も社会的に平等であること。男性だから、女性だからと様々な差別を受けることのない社会をつくる努力が必要です。

日本の男女格差は

社会的・文化的な男女格差の大きさを国別に比較した、世界経済フォーラム (WEF) による「ジェンダーギャップ指数2021」によると、日本は156カ国中120位。主要7カ国 (G7) では引き続き最下位となっています。

※ジェンダーギャップ指数…経済・政治・教育・健康の分野で男女の違いを比べたもの。日本は教育、健康の分野では男女平等ですが、労働力、企業の幹部などの男女の割合を比べた経済の分野は世界平均と同じくらい、政治家などの男女比を比べた政治の分野では大幅に女性の数が少なくなっています。この順位が教えてくれるのは、社会の中で男性、女性が平等であるために、日本の社会が解決していかなくてはならない問題がまだまだたくさんあるということです。

ジェンダー平等 実現のために身近なところから

世界からみても、ジェンダー平等を実現するという点では、日本は遅れています。身近な問題では、女性が子育てをしながら安心して働き続けるために欠かせない保育園の数は、まだまだ足りません。結婚・出産後も働く女性が増えているのに、保育園不足は女性が社会で活躍する妨げとなり、大きな社会問題になっています。

ジェンダーの平等とは、お父さんとお母さんが仕事・家事・子育て、すべてにおいて協力し合い、分担することです。みなさんの家では、家族それぞれが家事を分担していますか？ 家族それぞれが分担する家事の種類と量を比較してみれば、家庭内のジェンダーのバランスが見えてきます。家事の量だけでなく、その大変さの違いについても家族で話し合ってみましょう。

参考資料：Edu Town SDGs わたしたちがつくる未来 <https://sdgs.edutown.jp/>



SDGsと男女平等参画推進センターミウズ

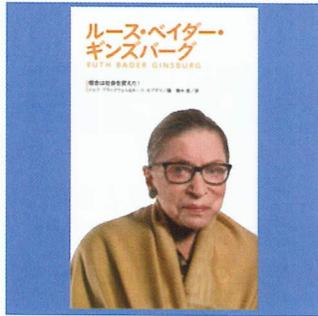
ジェンダー平等の実現は、他のSDGsの目標達成にも大いに関わってきます。すべての目標に近づき、ターゲットを達成するためにも女性の能力を最大限に発揮することが重要になってきます。

男女平等参画推進センターミウズでは、女性相談の実施、男女平等参画に関する講座、活動場所や資料の提供、情報発信など、男女平等参画を推進するため、地域におけるさまざまな支援を行っております。

おすすりめ図書

『ルース・ベイダー・ギンズバグ
信念は社会を変えた!』

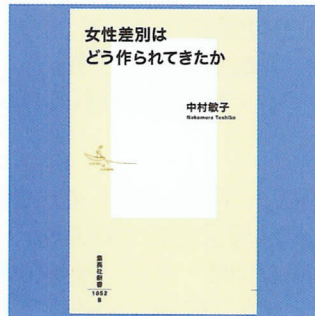
ジェフ・ブラックウェル&ルース・ホプディ編
橋本恵 訳【あすなろ書房】



ルース・ギンズバグについて、彼女の人生哲学とは? 特別インタビューを中心にした一冊。70年近く前、まだ女性が学ぶことが一般的でなかったアメリカで、苦学の末コロンビア大学を首席で卒業するも、ユダヤ教徒で女性しかも母親という理由から法曹界では就職できず、学会に転向し教授となった。1972年アメリカ自由人権協会の女性権利プロジェクトを立ち上げ、性差別をめぐる裁判で、勝訴する。1993年アメリカ合衆国連邦最高裁判事になり、女性の権利と社会的平等を一貫して擁護し、画期的な判決を数多く下した。

『女性差別はどう作られてきたか』

中村敏子 著
【集英社新書】



なぜ、女性を不当に差別する社会は生まれてしまったのか。長年ホップズや福沢諭吉研究に携わってきた著者が、女性差別が生まれるまでの過程を、政治思想史の観点から分析。西洋と日本で異なるその背景を「家父長制」という概念により読み解く。



『たかくとびたて女の子』

ラケル・ディアス・レゲーラ 作 絵
星野由美 訳【汐文社】



それぞれの夢をもった3人の女の子。ヤルキさんがくれた翼をもっています。ところが、そこに悪の軍団があらわれます。「ソレハムリ」「ガイケンビジン」…。自分でも知らないうちに、空なんて飛べないとあきらめてしまいます。けれど、ちいさなきっかけで、大切なことに気づくのです。女の子、男の子、どちらでもあって、どちらでもない子、だれでもみんな翼をひろげれば、空たかくまでとんでいけるのです。

今回ご紹介した図書は、男女平等推進センターミウズに配架してあります。どうぞご利用ください。

女性のための相談

女性が抱える様々な悩みや不安に対し、解決の道を探るための1対1のカウンセリングです。専門の女性相談員が応じます。(秘密厳守)

ひとりで悩まないで、一緒に考えましょう

毎週金曜日 午前10時~午後3時
(第3金曜日は午後3時~午後8時)

無料

ご予約が必要です ☎043-460-2580

佐倉市男女平等参画推進センターミウズ

指定管理者制度導入施設 佐倉市男女平等参画推進センター ミウズ

〒285-0837 佐倉市王子台1-23
レイクピアウスイ3階



- 開館時間 9:00~20:00
- 休館日 毎月第4水曜日
年末年始(12/29~1/3)

- 施設案内
 - * 学習室
 - * ミーティングスペース
 - * 図書コーナー
(市内図書館オンライン)
 - * インターネット利用
 - * 女性のための相談



<http://mews.shiteikanri-sakura.jp> E-mail: info@mews.shiteikanri-sakura.jp

TEL.043-460-2580 FAX.043-460-2582